

令和5年度 第1回地域社会連携本部会議議事要旨

開催日時：令和5年5月29日（月）10：01～10：40

開催方法：オンライン会議（ZOOM）

出席者

荒 学（世田谷区スポーツ推進部 スポーツ推進課長）※田谷係長代理出席

小野 道子（公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団 事務局管理課長）

早川 信悟（公益財団法人横浜市スポーツ協会 スポーツ事業部長）

渡辺 貴士（横浜市青葉区 総務部 区政推進課長）

亀山 有希（社会貢献推進機構 連携推進担当）

波多腰 克晃（スポーツプロモーション・オフィス オフィスディレクター）

欠席者

高梨 潤一（横浜市にぎわいスポーツ文化局 スポーツ振興部 スポーツ振興課長）

小林 正利（社会貢献推進機構 教育開発担当）

中里 浩一（社会貢献推進機構 研究開発担当）

事務局（スポーツプロモーション・オフィス）：湯田平、山中、堀内

開会に先立ち、事務局から構成員の紹介があり、波多腰オフィスディレクター（以下、OD）より挨拶がなされた。「地域社会連携本部規則第4条」に基づき、議長に波多腰 OD が選出され、波多腰議長より、「地域社会連携本部規則第5条」に基づき、過半数の出席をもって本会の成立が宣言された。

議 事

1. 報告事項

(1) 令和3年度、令和4年度事業報告について

事務局湯田平より、資料1-1, 1-2「令和4年度社会貢献事業報告」について、2022年1月～3月、2022年4月～2023年3月まで実施した事業をまとめたものであり、新型コロナウイルス感染症予防対策、公開講座、体力測定、日体大スポーツフェスタ（小学生向け体験教室）、防災訓練の実施状況、環境美化活動、教育活動支援、体育・スポーツ活動支援等のボランティア活動、世田谷区、東京都スポーツ文化事業団、中央区等の委託事業において教員・学生を派遣した旨、説明があった。

(2) 2022年度自己点検・評価報告及び外部評価委員会報告について

事務局湯田平より、資料2-1, 2-2「2022年度自己点検・評価報告書」は、今年度から自己点検・評価の対象期間を「年間」から「年度」に改めるため、2022年1月～2022年3月と、2022年4月～2023年3月の2期に分けてまとめた報告書、資料3-1, 3-2「令和4年度評価報告書」は、資料2の自己点検・評価報告書をもとに、外部評価委員会が審査・評価した報告書であり、3つのテーマごとに「向上・充実のための課題」が記述されている旨、説明があった。

(3) その他

なし

2. 審議事項

(1) 令和 5(2023)年度事業方針・事業計画について

事務局湯田平より、資料 4「令和 5(2023)年度事業方針・事業計画(案)」について、令和 3 年 5 月に本学社会貢献推進機構が定めた「社会貢献及び社会連携に関する基本方針」のもと策定した 2021 年度事業方針・事業計画を継続し、一部文言修正している旨、説明があった。

また、日体大 CSC (Community Sport Coordinator) については、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部で昨年度よりスタートさせ、9 名の資格付与者を輩出し、今年度から児童スポーツ教育学部でもスタートする旨の報告があった。

波多腰議長より、令和 5(2023)年度事業方針・事業計画について、資料 4 のとおり提案、審議の結果、提案のとおり承認された。

(2) 令和 5 年度公開講座等について

事務局湯田平より、資料 5「令和 5 年度公開講座等一覧」について、キャンパスが配置されている世田谷区、横浜市のスポーツ推進(振興)計画を参酌し、主に地域住民を対象とした体育・スポーツの普及発展、健康の保持増進等、地域課題の解決に資する講座を学内で公募したところ、新たに開講する講座が 3 講座あり、毎年応募者多数により抽選となっていた「日体大スポーツフェスタ」は冬だけでなく夏にも実施することの説明があった。また、実施にあたっては、5 類移行されたが、すべて対面での実施のため、新型コロナウイルスの感染症防止対策を行うこと、人数の少ない講座については積極的な広報を行うこと、今後の内容の変更については、社会貢献推進機構長(学長)に一任する旨、併せて承認願う旨、説明があった。

委員より、CSC と「高校生のためのケガの予防トレーニングと簡単テーピング講座」の関連はあるかと質問があり、事務局より関連性はない旨回答した。

波多腰議長より、令和 5 年度公開講座について、資料 5 のとおり提案、審議の結果、提案のとおり承認された。

(3) 日本体育大学社会貢献推進機構社会貢献推進事業中期計画について

事務局湯田平より、日本体育大学社会貢献推進機構社会貢献推進事業中期計画は、昨年度が最終年であるため、令和 4 年度第 2 回運営戦略会議にて振り返りを行い、第 4 回運営戦略会議、令和 5 年度第 1 回運営戦略会議を経て、案を作成した旨、説明があった。

波多腰議長より、日本体育大学社会貢献推進機構社会貢献推進事業中期計画について、資料 6 のとおり提案、審議の結果、提案のとおり承認された。

(4) 地域社会連携本部規則の一部改正について

事務局湯田平より、地域社会連携本部規則第 2 条の構成員について、4 月より、横浜市の組織改編のため、市民局からにぎわいスポーツ文化局に変更になった旨、説明があった。

波多腰議長より、地域社会連携本部規則の一部改正について、資料 7 のとおり提案、審議の結果、提案のとおり承認された。

(5) その他

なし

3. 情報交換

波多腰議長の進行により、各委員からスポーツ振興や活動状況について情報交換がなされた。

(早川) 横浜マラソンや当協会のセミナーにおける協力については感謝する。運動部活動の地域移行について、横浜市とも議論しているが、なかなか進んでいない。スポーツボランティアセンターの活用も含めて、日体大と連携を図っていきたい。

- (小野) 小中学生向けのバレーボール教室に日体大女子バレーボール部に協力をいただき大変感謝している。今後も通年の講座に対して、部活単位で協力してほしい。また、本財団の講座は、小学生や高齢者対象のものが多いため、高校生対象の公開講座を参考にさせていただきたい。
- (田谷) 世田谷区は来年度からの新たなスポーツ推進計画を策定するが、引き続き地域や大学との連携を進めていきたい。
- (渡辺) 青葉区にある6大学との連携事業として、昨年度学生ライターによるガイドブックを作成した。先日、青葉区長とともに日体大を訪問し、施設が大変充実しており、日本のスポーツの発展を支えていると感じた。様々な取り組みから大学と連携を図っていきたい。

事務局湯田平より、次回会議は10月に開催を予定している旨、連絡があり、波多腰議長より閉会の挨拶があった。

以上

【配付資料】

- 資料 1-1 令和3年度 社会貢献推進事業報告(2022年1月～2022年3月)
- 資料 1-2 令和4年度 社会貢献推進事業報告(2022年4月～2023年3月)
- 資料 2-1 2022年度 自己点検・評価報告書(2022年1月～2022年3月)
- 資料 2-2 2022年度 自己点検・評価報告書(2022年4月～2023年3月)
- 資料 3-1 令和4年度 評価報告書(令和4年1月～令和4年3月)
- 資料 3-2 令和4年度 評価報告書(令和4年4月～令和5年3月)
- 資料 4 令和5(2023)年度事業方針・事業計画(案)
- 資料 5 令和5年度公開講座等一覧
- 資料 6 日本体育大学社会貢献推進機構社会貢献推進事業中期計画(案)
- 資料 7 地域社会連携本部規則(一部改正案)

(参考資料)

1. 地域社会連携本部構成員一覧
2. 日本体育大学社会貢献推進機構構成員一覧
3. 日本体育大学社会貢献推進機構規程